

博多学シラバス

授業科目名	博多学
授業科目区分	全学教育科目（総合科目）
開講年度	2010
開講学期	前期
曜日時限	5/8、15 又は 22 に実地見学 8/18～8/20 に西新プラザで集中講義
必修選択	選択
単位数	1 単位
担当教員・講師	<p>は、各大学の担当教員</p> <p>【九州大学】</p> <p>田中 岳 教育改革企画支援室准教授 tanaka.gaku.906@m.kyushu-u.ac.jp</p> <p>南 博文 人間環境学府教授</p> <p>高山倫明 人文科学府教授</p> <p>【西南学院大学】</p> <p>磯 望 人間科学部教授 iso@seinan-gu.ac.jp</p> <p>高倉 洋彰 国際文化学部教授</p> <p>森泰男 西南学院大学国際文化学部教授</p> <p>【中村学園大学】</p> <p>松隈 紀生 中村学園大学短期大学部食物栄養学科教授 kyoumu@nakamura-u.ac.jp</p> <p>【福岡大学】</p> <p>渡辺亮一 工学部社会デザイン工学科准教授 wata@fukuoka-u.ac.jp</p> <p>【福岡歯科大学】</p> <p>上西秀則 機能生物化学講座感染生物学分野教授 kaminiz1@college.fdcnet.ac.jp</p>
対象学部等	全学部
対象学年	1～4・6
開講地区	九州大学西新プラザ 中会議室他
履修条件	履修希望者数によっては人数制限をする場合がある。
授業概要	博多を博多湾や水事情などの「自然」、大宰府やキリスト教の普及などの「歴史」、食文化、屋台文化、ことばなどの「文化」の面から考察する。
授業の目的 教育目標	<p>「博多学」を通じて、みなさんが今まさに学んでいる土地が、どのような場であるのかを学んでいきましょう。「Think Globally, Act Locally」というキャッチフレーズを目にしたことがある方も多いと思います。これを「博多学」に照らして見つめなおすとすれば、次のようになるでしょう。郷土に関する知識（歴史、文化など）や、郷土で行われていること（習慣など）を知ることで、郷土に対する誇りを再確認することにつなげ、更にその誇りをグローバルに生きる「国際人」の自信として欲しい。この「博多学」が、郷土愛に閉じこもるのではなく、ひらかれた郷土愛を持つ契機になることを願っています。そして、そのような態度は、</p>

	<p>みなさん自身が自分の故郷を捉え直す機会になることも期待しています。</p> <p>以上のようなことから、みなさんの学習目標は大きく二つを考えています。ひとつは「博多」の魅力を自分の言葉で伝えることができるようになること。もうひとつは、故郷や郷土を見つめる際に自分が最も大切にしている視点とは何かについて理由を含めて説明できるようになること。</p> <p>この二つを念頭に「博多学」を楽しんでください。</p>
<p>授業の進め方</p>	<p>実地見学は、5/8(土)、5/15(土)、5/22(土)のいずれかに参加すること。          講義は、8/18~8/20の3日間の集中講義 計12時間</p>
<p>授業計画</p>	<p>実地見学&lt;神社・仏閣・記念館・遺跡などの歴史的背景を理解する。&gt;  <u>3日の実地見学のうちから1日を選び参加すること。</u></p> <p><b>5/8(土)</b> 鴻臚館遺跡、筥崎宮の歴史を理解する。          (鴻臚館遺跡から筥崎宮へ地下鉄にて移動)          予習事項：鴻臚館遺跡・筥崎宮</p> <p><b>5/15(土)</b> 東長寺、博多町家ふるさと館での学習。          (東長寺から博多町家ふるさと館へ徒歩にて移動。講話：長谷川法世)          予習事項：東長寺</p> <p><b>5/22(土)</b> 福岡市博物館での講義、学習          (現地集合)          予習事項：福岡市の近世歴史          講義</p> <p><b>8/18(水) 10:00~16:00</b></p> <p><u>オリエンテーション(10分)</u> 10:00~  <b>【田中岳 九州大学教育改革企画支援室准教授】</b></p> <p><u>博多の水辺から学ぶ - 博多湾 (博多は潟地の地名である) - (90分)</u> 10:10~  <b>【福岡大学工学部社会デザイン工学科准教授】</b></p> <p>福岡は太古の昔から大陸との交易の窓口として日本の重要な拠点であり続けています。博多湾はその中でも、特に重要な水辺です。私たちが今見ている博多湾にどのような問題が潜んでいるかを、博多湾の現状と開発の歴史を振り返りながら講義を進めていき、博多湾のどこに問題があるのかを学んでもらい、福岡市の水事情(海水淡水化プラント・湯水)についても理解をしてもらおう。</p> <p><u>博多の水辺から学ぶ - 福岡市内(内陸編) - (90分)</u> 13:00~  <b>【福岡大学工学部社会デザイン工学科准教授】</b></p> <p>福岡都市圏では、近年、大雨のたびに都市型水害が頻発している。今年7月、福岡市内においても、時間100mmを超える降雨を観測し、深刻な浸水被害を引き起こしている。この2コマ目では、このような都市型水害が何故、頻発するようになったか?を様々な角度から検証し、今後、都市型水害の抑制に関して何が有効であるかを話します。また、同時に福岡市内の川の環境についても様々な視点から問題点を検証していき、理解を深めてもらう。</p>

博多湾の自然－海岸線の変動と環境変動－（60分）14：45～

【磯望 西南学院大学人間科学部教授】

博多湾の海岸線は海水準変化などに対応して、先史時代から歴史時代にかけて少なからず変化してきた。ここでは考古学的調査や古地図などを用いて、先史時代から現在までの博多湾の海岸線の変化を検証し、地球規模の環境変動との関連性などについて考えたい。

8/19（木） 10：00～16：00

大宰府から博多へ（60分）10：00～

【高倉洋彰 西南学院大学国際文化学部教授】

那津官家から大宰府へ

大宰府と鴻臚館

鴻臚中島館の役割

国際港湾都市としての博多津と大唐街

博多におけるキリスト教の足跡を訪ねて（60分）11：15～

【森泰男 西南学院大学国際文化学部教授】

博多は昔から東アジアの各地と密接に結びついてきた国際都市です。したがって、ユーラシア大陸の先進的文化（稲作や禅宗、など）はいち早く博多に紹介されました。キリスト教はまさに国際的・世界的な教えであって、多くの人々の印象とはまったく逆に、国際都市博多によく似合うのです。あるいは、国際都市博多は世界的・グローバルなキリスト教とよく似あうのです。

さて、キリスト教と博多の出会いの1つは大航海時代の波に乗ってやってきたカトリック・キリスト教です。国際港博多におけるキリシタン（たとえば、フランシスコ・ザヴィエルや他の宣教師たち）の足跡はあるのでしょうか。しかし、もっと確かなのは、福岡の歴史とともに始まった黒田如水と彼に随ってやってきたキリシタンの歴史です。キリスト教禁教の時代の黒田藩におけるキリシタンの後裔たちの足跡はどこまでたどれるのでしょうか。もう1つの大きな出会いは幕末・明治初期におけるプロテスタントの宣教師の活躍とともに始まりました。博多・福岡におけるキリスト教の足跡は多くなり、歴史の中に鮮やかに刻み込まれています。古い教会の歴史、福岡女学院や西南学院などのキリスト教学校の存在感（プレゼンス）は博多を考えるとときには外せないテーマです。60分の講義では、どこまでやれるかわかりませんが、西公園を中心にキリスト教の足跡を訪ねてみたいと考えています。私よりもずっと詳しい方もおられることでしょう。そのような方から「講師」の蒙を啓いていただければ幸いです。とにかく探訪の旅を楽しく分かち合いたいと今から楽しみにしています。

	<p><b>博多の郷土料理と食文化 (90分) 13:00~</b>  <b>【松隈紀生 中村学園大学短期大学部食物栄養学科教授】</b>  博多の正月料理(博多雑煮、がめ煮、ぬたえ、七草汁)  博多の春の料理(シロウオ、ひなまつり、タイ飯、あぶってかも)  博多の夏の料理(アジの博多おし、あちゃら漬、タラワタ)  博多のまつりと料理(どんたく、山笠、放生会)</p> <p><b>博多の郷土料理と食文化 (90分) 14:45~</b>  <b>【松隈紀生 中村学園大学短期大学部食物栄養学科教授】</b>  博多の秋の料理(ごまサバ、カマスの姿鮨、だご汁)  博多の冬の料理(鶏の水炊き、もつ鍋、鶏ちり、イワシの湯豆腐、鍋具、せんぶきまげ)  博多の朝ご飯(おきゅうと、高菜の油炒め)  博多のおもてなし料理(吸い物膳)  昔ながらのおやつ</p> <p><b>8/20(金) 13:00~16:45</b></p> <p><b>博多とアジアの屋台文化(90分) 13:00~</b>  <b>【九州大学人間環境学府 南 博文教授】</b>  全国でも珍しく屋台が続いて都市アイデンティティの一つとなっている博多の商都性について、アジアの屋台文化という文脈から捉え、アジア都市の深層空間を理解する心理学的アプローチについてお話しする。</p> <p><b>博多方言の歴史(90分) 14:45~</b>  <b>【九州大学人文科学府 高山倫明教授】</b>  音韻・アクセント・語彙・語法の諸点から、日本語史上における博多方言の位置づけを行う。</p> <p><b>まとめ(15分) 16:30~</b>  <b>【田中岳 九州大学教育改革企画支援室准教授】</b></p>
学習相談	講義終了後及び e-mail で適宜受け付ける。
試験 / 成績評価の方法等	<p>在籍する大学の担任教員が、出席状況、講義毎に徴するペーパー、レポート等の情報により総合的に評価します。</p> <p>具体的には、前述の学習目標に照らして次のような課題を実施する予定です。</p> <p>「博多」の魅力を自分の言葉で伝えることができるようになるために、授業で得た知識を確認するために、授業毎に授業の内容をまとめてもらいます。</p> <p>故郷や郷土を見つめる際に自分が最も大切にしている視点とは何かについて理由を含めて説明できるようになるために、本授業を通じてあらためて確認できたことをあなたの考えとして最終レポートにまとめてもらいます。</p>